



学校だより

11月号

横浜市立不動丸小学校 令和3年10月29日

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/fudomaru/>



一人ひとりの「花」を大切に

校長 山下 謙一郎

夏のような気候が続くと思っていたら、秋を感じる間もなく、冬のような気候になりそうな今日この頃です。寒暖の差に体が慣れず、子どもたちも長袖がいいのか、半袖がいいのか、日々悩みながら生活しているようです。秋は、学校でもさまざまな活動がしやすい季節です。「〇〇の秋」と昔からいいますが、この貴重な時期を、大事に過ごしていきたいものです。

さて、今月は3つの歌の歌詞に込められた思いについて考えてみたいと思います。まずは今から約90年前の戦前、1931年につくられた童謡「チューリップ」です。

さいた さいた チューリップのはなが ならんだ ならんだ あか しろ きいろ
どのはなみても きれいだな

みんなが知っている優しい歌詞ですよ。作詞者の近藤宮子さんは「一人ひとりにいいところがある」というメッセージをこの歌に込めたのだそうです。

さて、それから約70年後の2003年、SMAPが「世界にひとつだけの花」を歌いました。

そうさ僕らは 世界に一つだけの花 一人ひとりちがう種をもつ
その花をさかせることだけに 一生懸命になればいい

この曲も一人ひとりのよさに目を向けて、それぞれかけがえのない大切な存在であることを伝えようとした素敵な歌です。最後に、私たちの不動丸小学校の「校歌」です。

花を咲かせよう 喜びの花を咲かせよう みんながうれしくなる きれいな花になろう

不動丸小学校の校歌は子どもたちを種や花に例えて、みんな素敵に育ててほしいという思いが込められていますね。この思いは、今もなお学校教育目標として脈々と受け継がれています。

作られた時代背景は異なっていますが、人々の心に大事にして欲しいものは、時代を超えても変わらないものが多いでしょう。社会情勢はまだまだ厳しい状況が続くかもしれませんが、どんな状況であっても、学校は子どもたちが健やかに育ていけるように、これからも教育活動を進めてまいります。今後とも、どうぞご理解ご協力の程よろしくお願い致します。